

3 大気環境の状況

中部地方における大気汚染状況（平成 21 年度）を見てみると、環境基準が定められている 5 物質のうち、浮遊粒子状物質（SPM）、二酸化硫黄（SO₂）及び一酸化炭素（CO）についてはすべての県において環境基準を達成しています。

一方、二酸化窒素（NO₂）については、一般環境大気測定局（一般局）ではすべての県で環境基準を達成しているものの、自動車排出ガス測定局（自排局）では環境基準達成率が三重県で 85.7%、愛知県で 91.4%となっています（他の県では、環境基準をすべて達成）。自動車交通の集中している名古屋都市圏及び四日市地域において、大気環境への負荷軽減が進んでいない状況にあります。

光化学オキシダント（O_x）については、岐阜県、愛知県、三重県において年により濃度に注意が必要となっています。平成 22 年の光化学オキシダント注意報の発令延日数は、愛知県で 1 日、三重県で 2 日でした。

大気環境は、近年全国的にゆるやかな改善傾向がみられますが、引続き自動車排出ガス総合対策が必要となっています。